

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
高岡駅周辺地区

平成23年12月

富山県高岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	ウイング・ウイング前広場でのイベント参加者数	人/年	70,000	90,000	92,200	確定 見込み ●	○	あり なし	93,795	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	開町400年記念事業の実施に加え、観光施設の改修や付近の歩行空間形成等の推進により、開催場所へのアクセス性が向上し、参加者数増加につながった。
指標2	公共交通利用者数	人/年	162,840	170,000	143,321	確定 見込み ●	△	あり なし ●	148,000	H23年7月	△	近年、モータリゼーションの進展に伴い公共交通の利用者が減少したこと及び急激な個人消費の冷え込みからコミュニティバス沿線住民の商店街への来訪機会が減少したことが影響している。 ■ 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標達成は図れなかったものの、コミュニティバス利用者数の減少幅は、平成20年頃から縮小傾向を見せている。また、高岡駅へのアクセス性を高める事業、駅南北の往來を高める事業、氷見線の利便性を高める事業の実施により、高岡駅の乗り換え利便性の向上につながり、高岡駅の交通結節機能が強化された。
指標3	地域来訪者	人/年	1,077,484	800,000	813,932	確定 見込み ●	○	あり なし	860,624	H23年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	観光施設の整備効果に加え、市内回遊性の向上や各種イベントの開催により、賑わい創出の相乗効果が図られ、来訪者増加につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	JR氷見線に対する満足度調査	%	11.8	/	30.9	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	総合交通ターミナル機能の維持・向上	・駅前広場及び交通広場の整備に向けた整備工事	・代替駅前広場を整備し、駅前広場の機能を維持しながら、高岡駅の総合交通ターミナルとしての機能向上を図る。(平成24年1月代替駅前広場完成予定)	・平成24～25年度に万葉線(路面電車)を交通広場まで延伸予定
	安全で快適なターミナル空間・市街地の歩行空間の維持・向上	・エレベータ及びエスカレータを有する高岡駅南北自由通路の供用開始	・南北市街地を結ぶ自由通路の設置により、安全・安心な歩行が可能になった。	・平成24～25年度に高岡駅北口歩行者専用道を整備予定
	中心市街地における賑わい環境の維持・向上	・御車山会館建設工事基本設計業務に係る公募型プロポーザルを実施(平成24年3月基本設計完成予定) ・「(仮称)たかおかストリート構想」を作成中(平成24年3月指針完成予定)	・高岡御車山会館の建設及び平成の御車山の制作に向けた検討を行い、歴史的風致を行かしたまちづくりを進めた。 ・歴史的風致を生かした山町・金屋町ゾーン、イベントが多数開催される中心商業地ゾーン等の歩行系回遊ルートの検討を行った。	・平成24年度から都市再生整備計画2期計画を実施予定 ・平成24年度に金屋町～山町筋回遊ルートの整備計画を策定予定
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	新駅との乗り換え利便性向上に向けた検討	・城端・氷見線活性化推進協議会において、「城端・氷見線地域公共交通総合連携計画」を策定中(平成24年3月完成予定)	・高岡市とJRの間で城端線新駅の設置に向けた協議を行うとともに、高岡市とほか3市及びJRの間で城端線・氷見線の運行改善に向けた検討を行った。	・平成24～26年度に城端線新駅を整備予定 ・城端線や氷見線、万葉線及びバスの乗換え利便性向上のため高岡駅交通広場内に交通情報板の設置等を検討する。
	公共交通に対する市民意識の啓発	・市と関係団体、市民が連携し公共交通の活性化について考え、育てていく意識をもつための、フォーラムの共催	・平成23年11月に「公共交通活性化市民フォーラム」を開催。市民ら約120名の参加。	・引き続き市民の自発的な公共交通の利用を促進することが課題であるため、市民を対象に公共交通機関に対する意識啓発に取り組む必要がある。
	人口増加による中心市街地の賑わい向上	・平成19年度からまちなか住宅取得支援事業を継続して実施 ・平成21年度からまちなか耐震住宅リフォーム支援事業を継続して実施 ・平成23年2月に子育て支援センターを開設	・まちなか住宅取得支援事業の利用 42件(～H23.11現在) ・まちなか耐震住宅リフォーム支援事業の利用 1件(～H23.11現在) ・子育て支援センターの利用 述べ約3万人(～H23.11現在)	・定住者の増加が不可欠であり、継続してまちなか住宅取得支援事業及びまちなか耐震住宅リフォーム支援事業を実施する必要がある。 ・屋間人口の増加には、事業所の誘致が課題である。 ・地域来訪者に向けて、地場産業を活かした商品や地元食材を取り入れた料理を提供する場を強化しPRを図る必要がある。 ・中心市街地活性化基本計画に基づき、市街地の整備改善に関する事業や商業の活性化に関する事業を行い、中心市街地の賑わいにつなげる。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

たかおかえきしゅうへんちく
高岡駅周辺地区

富山県 たかおかし
高岡市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	とやまけん 富山県	市町村名	たかおかし 高岡市	地区名	たかおかまきしゅうへん ちく 高岡駅周辺地区	面積	320	ha					
計画期間	平成	18	年度 ~	平成	24	年度	交付期間	平成	18	年度 ~	平成	22	年度

目標

- 大目標「伝統とにぎわいのある中心市街地の形成」
- 目標1:安全・安心・快適な交通結節機能の強化
- 目標2:伝統とにぎわいのある中心商業地の形成

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本地区は、JR高岡駅及びその周辺に位置する地区である。
- 高岡駅は、JR北陸本線、氷見線、城端線や、路面電車万葉線が乗り入れる富山県西部の広域的な交通拠点となっている。
- 地区内には、御旅屋通り商店街、高の宮通り商店街、末広通り商店街、片原町商店街などの商業施設が集積するとともに、古城公園、高岡大仏、土蔵づくりの町並など観光スポットも多くある。
- また、近年は高岡市営高岡中央駐車場の整備や、高岡駅前西第一街区地区再開発事業(ウイング・ウイング高岡)による、ホテル、商業、公共施設(図書館、生涯学習センター等)による複合ビルの建設など、広域的な交流拠点として整備が行われている。
- 一方では、地区内人口の高齢化や減少などの問題や、郊外部への大規模商業施設の立地に伴う商店街の衰退などが問題とされている。
- また、北陸新幹線の新高岡駅(仮称)が高岡駅から南へ1.5kmの位置に整備予定であり、高岡駅と新高岡駅(仮称)との連携の強化が課題とされている。
- このような中、高岡駅南北自由通路及び駅前広場を都市計画決定し、より快適な交通ターミナルの整備を目指し事業着手を始めたところである。
- JR氷見線については、利用者の減少が進んでいるが、古城公園への重要な公共交通であるとともに、市民の通勤、通学の足として欠かせないものであり、城端・氷見線活性化推進協議会を設置し各種事業により活性化を図っているところである。
- また、平成19年に中心市街地活性化基本計画が認定され、さまざまな活性化のための施策展開を実施することとしている。

課題

- 高岡駅と新高岡駅(仮称)の連絡性の強化を図ると共に、総合交通ターミナルとしての高岡駅の交通結節機能の強化
- 誰もが安全で、安心して利用できる交通結節点の形成及び駅周辺の整備
- 衰退している中心商業地の活性化、賑わいの再生

将来ビジョン(中長期)

- 高岡市総合計画(平成19年)では、都市の将来像を「水・みどり・人 光輝く躍動のまち 高岡」と位置づけ、①ふれあい交流都市、②ゆとり快適都市、③かがやき協働都市を目指している。
- 高岡市都市計画マスタープラン(平成17年3月)では、計画区域を含む中部地域の地域づくりのテーマを「高速交通体系を活かし、にぎわいと伝統が調和したまちづくり」と位置づけ、①交通結節機能を活かした地域づくり、②道路ネットワークの形成と強化を図る地域づくり、③活力とにぎわいのある地域づくり、④歴史・伝統的な街並みを活かした地域づくりを目標として掲げている。
- 高岡駅及びその周辺地区都市整備推進計画(平成13年9月)では、計画区域を含む高岡駅周辺ゾーンの整備方針として、①魅力核の整備(滞留性の強化)、②歩行系ネットワークの整備(回遊性の強化)、③高岡駅南北の都市軸の形成(南北一体化の強化)、④高岡駅周辺へのアクセシビリティの改善(総合交通ネットワークの強化)を位置づけている。
- 中心市街地活性化基本計画(平成19年11月)では、計画区域を含む中心市街地活性化のスローガンを「光輝くまちなかの創生」として位置づけ、「世界に誇れる歴史・文化を生かしたまちづくり」「便利で住みよく快適なまちづくり」「活力と賑わいあふれるまちづくり」を目指している。
- 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づき、歴史的風致維持向上計画を策定することとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
ウイング・ウイング前広場のイベント参加者数	人/年	ウイング・ウイング広場でのイベント参加者数	広場活用により中心商業地の賑わいの創出を図る。	70,000人/年	平成16年	90,000人/年	平成22年
公共交通利用者数	人/年	コミュニティバスの利用客数	乗り換え利便性の向上により公共交通利用者の増加させる。	162,840人/年	平成16年	170,000人/年	平成22年
地域来訪者	人/年	観光入り込み客数(古城公園、高岡大仏、山町筋資料館・菅野家)	商店街と観光施設との連携により来訪者の増加を図る。	1,077,484人/年	平成16年	800,000人/年	平成22年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 高岡駅の乗り換え利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡駅は、JR北陸本線、JR城端線、JR水見線が乗り入れ、さらに、高岡駅北口広場内に路面電車万葉線の停留所が設置されており、富山県西部地域の広域交通ターミナルとして機能している。 ・一方、高岡駅から南へ1.5kmの位置に新幹線新高岡駅(仮称)が整備されることにより、高岡駅から、新高岡駅(仮称)への乗り換え需要が今後発生することが予想される。 ・しかしながら、現在水見線のホームは駅改札から約100m離れた位置にあり、乗り換え利便性が悪いことから、現在進められている南北自由通路及び橋上駅舎整備によるバリアフリー化、沿線駅周辺の環境整備など人にやさしい公共空間の整備とともに、水見線を現駅舎側ホームに移設改築し乗り換え利便性の向上を図る。 ・さらに、高岡駅利用者の利便性の向上と駅周辺部での北陸本線横断部の交通渋滞を緩和するために、現在借地として利用している高岡駅南駐車場の再整備及び前面道路(市道駅南18号線)の拡幅整備を行う。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備 (市道駅南18号線整備事業) ・地域生活基盤施設 (高岡駅交通広場整備) ・ " (高岡駅前駐輪場整備) ・ " (高岡駅南駐車場整備) ・高質空間形成施設 (バリアフリー対応公衆トイレ整備) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業 (水見線移設事業) ・事業活用調査 (事業効果分析調査事業)
<p>整備方針2: 伝統とにぎわいのある中心市街地の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡駅周辺は、JR北陸線により南北の市街地が分断されている。 ・既存の高岡ステーションビルは、昭和41年に建築され、建築後約40年経過し、老朽化しており、空き店舗も多い。 ・また、現在借地として利用している高岡駅南駐車場の再整備を行い、駅の南北を結ぶ地下道、自由通路を整備することで北側中心市街地へ誘客を促進する。 ・さらに、中心市街地内への買い物客や観光客の歩行回遊性を確保するために、坂下町通り、高の宮通り、末広町本丸町線、古城公園の整備を行う。 ・坂下町通りは、高岡大仏、古城公園と商店街の連携を図り、高岡大仏等に訪れる観光客や高岡朝市及び商店街の買い物客に快適な買い物空間を提供するため、商店街の既存アーケードを撤去しプロムナード空間として整備する。 ・高の宮通りは、既存の高の宮商店街の既存のアーケードを撤去し、隣接する関野神社の参道としての空間や修景整備を図る。 ・通学路の安全確保を図り、居住環境を改善することで地区内人口の増加に寄与する。 ・古城公園は、公園施設内の園路や看板、駐車場の整備等を図る。 ・また国の重要伝統的建造物群保存地区に登録されている「山町筋」地区の道路については、生活道路であると同時に、文化財として市民や観光客にとっても大切なところである。このため、「生活者」と「来訪者」の両面の視点、歴史的町並みを保全するみちづくりとして、安心して楽しく歩ける道路空間の整備、土蔵造りの山町筋にふさわしいファサードの形成、観光地としての環境の向上を図る。 ・また、高岡銅器発祥の地であり、千本格子の家並みを残す金屋町地区の高岡市鋳物資料館と金屋緑地、駐車場との通路を整備することで、観光客の動線を確認し、観光客の誘客を促進する。 ・高岡開町400年を好機として各種イベントを開催することで、高岡古城公園、高岡大仏、山町筋等のさまざまな歴史資産や伝統を市内外に発信し、高岡の魅力を大いにアピールする。 ・また、観光バス・高速バス等発着場を整備することとしており、そのアクセス道(市道下関町4号線)の拡幅整備を行うことで、地域来訪者の増加に寄与する。 ・また、中心市街地に位置する商業ビル「御旅屋セリオ」に文化施設を整備し、集客施設としての魅力向上を図ることで、商店街・商業施設への回遊性を高め、中心市街地のにぎわいに寄与する。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備 (坂下町通り整備事業整備) ・ " (高の宮通り整備整備) ・ " (市道鴨島町木舟町線整備事業) ・ " (市道木舟町大坪町一丁目線整備事業) ・ " (市道堀上町中島町線整備事業) ・ " (市道堀上町金屋町線整備事業) ・ " (市道片原横町川原本町線整備事業) ・ " (市道片原町川原町1号線整備事業) ・ " (市道片原町川原町2号線整備事業) ・ " (市道下関町4号整備事業) ・公園 (高岡古城公園整備) ・地域生活基盤施設 (高岡駅交通広場整備) ・ " (高岡駅南駐車場整備) ・ " (金屋緑地整備) ・高質空間形成施設 (高岡駅地下道整備) ・高質空間形成施設 (末広町本丸町線整備) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業 (通学路安全確保事業) ・地域創造支援事業(中心商店街賑わい再生事業) ・事業活用調査 (高岡古城公園保全・活用方針策定事業) ・事業活用調査 (事業効果分析調査事業) ・まちづくり活動推進調査 (中心市街地活性化推進事業) ・ " (中心市街地商店街情報発信事業) ・ " (まちづくり活動実施事業) ・ " (高岡開町400年記念事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡市では、中心市街地活性化基本計画を策定し、TMO(高岡町衆サロン)による、中心市街地活性化事業を推進している。 ・JR城端線、水見線の利用促進を図るため、高岡市を始め沿線四市により城端・水見線活性化推進協議会を設置し、主に次のような活動を行っている。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 調査啓発事業・・・ポケット時刻表の作成・配布、ノーマイカーデーの推進、啓発パンフレットの配布 2) 観光宣伝事業・・・出荷宣伝、観光PR事業及びイメージアップ事業の開催 3) イベント事業・・・城端線・水見線を使ったイベントの企画運営 4) 美化運動の推進 5) 鉄道少年団育成事業 	

